

令和7年度 | 学生募集要項 一般選抜

富山県立大学

工 学 部

機械システム工学科 環境調和型のものづくりの推進

電気電子工学科 エレクトロニクスで
社会を支え未来を切り開く

環境・社会基盤工学科 循環型社会づくりの「知」の拠点

生物工学科 自然環境と調和する
バイオテクノロジーの教育・研究拠点

医薬品工学科 「くすりの富山」の伝統を活かした
工学・薬学の融合

情 報 工 学 部

データサイエンス学科 数理と技術力で新しい価値を創造する

情報システム工学科 豊かな情報化社会を
実現する未来を目指して

知能ロボット工学科 未来の知能ロボットを創成

看 護 学 部

看護学科 高度化する医療や超高齢社会に対応する
看護の実践

目 次

1	入学者受入方針 [アドミッション・ポリシー]	1
2	募集人員	4
3	試験実施方式	4
4	出願資格	4
5	入学者選抜方法	5
6	出願手続	20
7	合格発表	30
8	入学手続	30
9	授業料等	31
10	追加合格	32
11	奨学金制度	32
12	授業料等の減免制度	33
13	福利厚生等	34
14	サークル活動	34
15	令和 7 年度入学試験結果の開示について	34
16	令和 7 年度入学試験における合格者の 平均点、最低点、最高点等の公表について	34
17	個人情報の取扱い	34
18	試験会場案内	35

* 令和 4 年度（2022 年度）入学者選抜から、インターネットによる出願登録及び出願書類の郵送が必要となりました。詳細については、21 ～ 24 ページの「インターネット出願の流れ」をご覧ください。

なお、冊子の学生募集要項は配布していません。本学ホームページからダウンロード・印刷してください。

1 入学者受入方針【アドミッション・ポリシー】

富山県立大学は、科学技術の素養に富み人間性豊かな人材、そして創造力と実践力を兼ね備え、地域および社会に貢献できる人材の育成を教育の基本方針としています。

(1) 工学部

工学部では、21世紀の重要な課題である「自然や人間に優しい技術の創出」に役立つ教育研究を重点として、しっかりとした専門的学力と深い探究心を育てることに力を注いでいます。さらに、かの「万能の天才」レオナルド・ダ・ヴィンチの旺盛な創造意欲や好奇心に学び、新たな可能性にチャレンジする気概を育てることをめざしています。

以上のような教育方針のもと、学生の皆さんの成長を確かなものとするために、次のような心構えや意欲を持った学生の入学を希望します。

- 1 自然科学に興味を持ち、科学技術の基盤となる理系の基礎学力がある。
- 2 困難な問題に直面しても、問題の解決に向けて努力しようとする。
- 3 自分で考え、自分の言葉で表現しようとする。
- 4 自然・環境や人間を大切にし、自らの活動を通して社会に貢献したいと思う。

機械システム工学科では特に次のような人を求めます

機械工学分野の基礎知識と学力を身につけ、幅広い視野をもって機械技術者の立場から地球環境問題などの今日的課題に立ち向かう意欲のある人

電気電子工学科では特に次のような人を求めます

電気・電子・通信・制御の各分野の基礎知識と技術者としての考え方を身につけ、社会の変化に対応できる高度な電気・電子技術や通信・制御システムの開発に挑戦する意欲のある人

環境・社会基盤工学科では特に次のような人を求めます

循環型社会の構築、自然との共生及び地球環境保全に貢献する知識・技術を身につけ、広い視野にたってさまざまな環境問題を解決しようとする意欲のある人

生物工学科では特に次のような人を求めます

化学と生物学に興味を持ち、自然環境と調和するバイオテクノロジーによる豊かな社会を作り、生命・食・環境に関わる課題を解決する意欲のある人

医薬品工学科では特に次のような人を求めます

健康長寿社会の実現に向けて、工学の視点から研究・開発・製造を行い、優れた医薬品や医療技術を生み出す意欲のある人

<入学者選抜の基本方針>

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、多様な選抜方式を実施します。

【一般選抜（前期日程）】

理系の基礎学力を重視します。大学入学共通テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。さらに、理系の知識と、それを活用した論理的な思考力・判断力・表現力等の能力とを評価する個別学力検査を課し、これらと調査書の内容を総合して選抜します。

【一般選抜（後期日程）】

理系の基礎学力を重視します。大学入学共通テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価し、これと調査書の内容を総合して選抜します。個別学力検査は課しませんが、大学入学共通テストについては前期日程より数学、理科を重視した配点とし、理系の知識と、それを活用した論理的な思考力や判断力等の能力とを評価します。

(2) 情報工学部

情報工学部では、情報やデジタルの技術を軸に機械工学や電子工学など工学に立脚する科学技術で、現代社会の抱える様々な課題を主体的に解決しようとする能力と意欲のある人材育成を目的とします。

この目的を達成するために、次のような心構えや意欲、基礎学力を持った学生の入学を希望します。

- 1 情報科学や自然科学に興味があり、科学技術に必要な理系の基礎学力を有する人
- 2 現代社会の抱える課題に対して主体的に挑戦しようとする意欲のある人
- 3 深い専門知識とともに幅広い教養を身につけ、自らの活動を通じて地域や国際社会に貢献したいと思う人
- 4 多様な意見や文化を尊重しながら自らの考えを表現でき、協調的な人間関係を築こうとする人

データサイエンス学科では特に次のような人を求めます

データサイエンスの専門知識に興味があり、社会課題に対してデータに基づき数理的に分析・推論し解決方策を導く能力と、新たな価値を他者との協働で創造できる能力を身に付けることに意欲のある人

情報システム工学科では特に次のような人を求めます

仮想と現実の両空間で進化する情報社会の課題に目を向け、理論と実践に基づいた唯一無二の情報技術の研究開発を行い、多様な人々の自己肯定感を向上させることに意欲のある人

知能ロボット工学科では特に次のような人を求めます

ロボットは、情報工学による知能と、機械、電子機器を統合したシステムであって、それらの融合領域の学問であるロボット工学を修め、革新的な科学技術を創造する意欲のある人

<入学者選抜の基本方針>

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、多様な選抜方式を実施します。

【一般選抜（前期日程）】

理系の基礎学力を重視します。大学入学共通テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。さらに、理系の知識と、それを活用した論理的な思考力・判断力・表現力等の能力とを評価する個別学力検査を課し、これらと調査書の内容を総合して選抜します。

【一般選抜（後期日程）】

理系の基礎学力を重視します。大学入学共通テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価し、これと調査書の内容を総合して選抜します。個別学力検査は課しませんが、大学入学共通テストについては前期日程より数学、理科を重視した配点とし、理系の知識と、それを活用した論理的な思考力や判断力等の能力とを評価します。

(3) 看護学部

看護学部では、幅広い教養と人々への共感的態度を備えた人間性豊かな人材、さらに、創造力、実践力及び探究心を兼ね備え、多職種と協働しながら地域や社会に貢献できる人材の育成をめざしています。

以上の教育方針のもと、学生の皆さんの成長を確かなものとするために、次のような心構えや意欲を持った人の入学を希望します。

- 1 人々の健康や生活に関心を持ち、幅広い基礎学力がある。
- 2 困難な課題に直面しても、課題の解決に向けて主体的に取り組み、努力しようとする。
- 3 多様な考え方を尊重しながらも、自分の考えを表現し、他者との関係性を築いていける。
- 4 自然・環境や人間を大切にし、自らの活動を通して地域社会に貢献したいと思う。

＜入学者選抜の基本方針＞

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、以下の選抜方式を実施します。

【一般選抜（前期日程）】

文系・理系を問わず幅広い基礎学力を重視します。大学入学共通テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。これと論理的な思考力や表現力等の能力を評価する小論文、コミュニケーション能力や判断力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する面接及び調査書の内容を総合して選抜します。

【一般選抜（後期日程）】

文系・理系を問わず幅広い基礎学力を重視します。大学入学共通テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。これとコミュニケーション能力や判断力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する面接及び調査書の内容を総合して選抜します。

2 募集人員

学 部	学 科	入学 定員	募 集 人 員				
			学 校 推 薦 型 選 抜			一 般 選 抜	
			うち県外	うち職業科		前期	後期
工 学 部	機械システム工学科	60名	14名	2 学科計 5 名以内 (各学科 3 名以内)	2 学科計 2 名程度 (県内のみ)	39名	7名
	電 気 電 子 工 学 科	45名	11名			29名	5名
	環境・社会基盤工学科	55名	14名	1 名以内	1 名程度 (県内のみ)	36名	5名
	生 物 工 学 科	40名	11名	2 学科計 2 名以内	2 学科計 2 名程度 (県内のみ)	26名	3名
	医 薬 品 工 学 科	35名	10名			23名	2名
	小 計	235名	60名	8 名以内	5 名程度 (県内のみ)	153名	22名
情 報 工 学 部	データサイエンス学科	40名	11名	3 学科計 8 名以内	3 学科計 3 名程度 (県内のみ)	26名	3名
	情報システム工学科	60名	15名			40名	5名
	知能ロボット工学科	60名	15名			40名	5名
	小 計	160名	41名	8 名以内	3 名程度 (県内のみ)	106名	13名
看護学部	看 護 学 科	120名	48名 (県内のみ)	—	—	62名	10名
計		515名	149名	16名以内	8 名程度 (県内のみ)	321名	45名

- ・職業科とは、機械システム工学科、電気電子工学科、環境・社会基盤工学科については、文部科学省学校基本調査にいう「工業に関する学科」、「情報に関する学科」、「商業に関する学科（情報処理関係に限る。）」及び「水産に関する学科」に分類される学科とする。生物工学科、医薬品工学科については、「工業に関する学科」、「農業に関する学科」及び「水産に関する学科」に分類される学科とする。データサイエンス学科、情報システム工学科、知能ロボット工学科については、「工業に関する学科」、「情報に関する学科」、「商業に関する学科（情報処理関係に限る。）」、「農業に関する学科」及び「水産に関する学科」に分類される学科とする。
- ・県内とは富山県内を、県外とは富山県外を指し、いずれも高等学校等の所在地をいう。
- ・学校推薦型選抜については、「学生募集要項 [「学校推薦型選抜」](#)」を参照のこと。

3 試験実施方式

分離・分割方式（前期日程・後期日程）で試験を実施する。

4 出願資格

学校教育法第90条第1項の規定により大学の入学資格を有する者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者で、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学の受験に必要な教科・科目を全て受験したもの

（学校教育法施行規則第150条第7号の規定に該当する者として出願を希望する者は、出願に先立ち入学資格審査を行うので、志望する学部ごとに「6 出願手続」の「(5) 出願手続先」に記載する宛先に申請書類を請求すること（申請期間は令和7年1月14日(火)から1月17日(金)まで）。

5 入学者選抜方法

(1) 工学部

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査（前期日程のみ）の結果及び調査書の内容を総合して行う。

① 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

ア 前期日程

《全学科》

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」 (注1)	4教科・5科目 (注4)
数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
理科	「物理」「化学」「生物」から1科目 (注2)	
外国語	「英語」 (注3)	

イ 後期日程

《機械システム工学科、電気電子工学科》

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」 (注1)	4教科・5科目 (注4)
数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
理科	「物理」	
外国語	「英語」 (注3)	

《環境・社会基盤工学科》

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」 (注1)	4教科・5科目 (注4)
数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
理科	「物理」「化学」から1科目 (注2)	
外国語	「英語」 (注3)	

《生物工学科、医薬品工学科》

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」 (注1)	4教科・5科目 (注4)
数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
理科	「物理」「化学」「生物」から1科目 (注2)	
外国語	「英語」 (注3)	

(注1)「国語」については、「近代以降の文章」のみを合否判定に利用する。なお、100点に換算して利用する。

(注2)「理科」については、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。

(注3)「英語」については、リーディング及びリスニングの両方を合否判定に利用する。リスニングの受験を免除された者については、リーディングの成績を素点として利用する。

なお、「英語」は、リーディング(100点満点)及びリスニング(100点満点)の合計を素点として利用する。

(注4)指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とする。

② 個別学力検査

ア 試験期日・時間割

試験	期 日	時 間		
前期日程	令和7年2月25日(火)	9:30～10:00	10:00～12:00	13:30～15:00
		受験上の注意事項説明 (30分)	数学 (120分)	理科 (90分)
後期日程	個別学力検査は、課さない。			

イ 前期日程の実施教科・科目等の内容及び採点・評価の基準（注１）

《機械システム工学科、電気電子工学科》

実施教科等	実施科目等の内容及び採点・評価の基準	時 間
数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ」の範囲から出題し、高等学校で学ぶ数学に関する知識の習得度や、習得した知識を活用して事象を数学的に考察・表現する能力を点数化して評価する。（注２）	120分
理 科	「物理（物理基礎・物理）」の範囲から出題し、高等学校で学ぶ物理に関する基本的な概念や原理・法則の習得度、論理的な思考力・判断力・表現力を点数化して評価する。	90分

《環境・社会基盤工学科》

実施教科等	実施科目等の内容及び採点・評価の基準	時 間
数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ」の範囲から出題し、高等学校で学ぶ数学に関する知識の習得度や、習得した知識を活用して事象を数学的に考察・表現する能力を点数化して評価する。（注２）	120分
理 科	「物理（物理基礎・物理）」、「化学（化学基礎・化学）」の範囲から出題し、選択された１科目について、高等学校で学ぶ基本的な概念や原理・法則の習得度、論理的な思考力・判断力・表現力を点数化して評価する。（注３）	90分

《生物工学科、医薬品工学科》

実施教科等	実施科目等の内容及び採点・評価の基準	時 間
数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ」の範囲から出題し、高等学校で学ぶ数学に関する知識の習得度や、習得した知識を活用して事象を数学的に考察・表現する能力を点数化して評価する。（注２）	120分
理 科	「物理（物理基礎・物理）」、「化学（化学基礎・化学）」、「生物（生物基礎・生物）」の範囲から出題し、選択された１科目について、高等学校で学ぶ基本的な概念や原理・法則の習得度、論理的な思考力・判断力・表現力を点数化して評価する。（注３）	90分

（注１）個別学力検査を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

（注２）「数学Ａ」は「数学と人間の活動」を、「数学Ｂ」は「統計的な推測」及び「数学と社会生活」を、「数学Ｃ」は「数学的な表現の工夫」を除く。

（注３）「理科」については、試験開始後に選択し、解答すること。

③ 大学入学共通テストと個別学力検査の配点

ア 前期日程

《機械システム工学科、電気電子工学科、環境・社会基盤工学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
共 通 テ ス ト	100点	200点	100点	250点	650点
個別学力検査	—	250点	200点	—	450点
計	100点	450点	300点	250点	1,100点

《生物工学科、医薬品工学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
共 通 テ ス ト	100点	200点	100点	300点	700点
個別学力検査	—	250点	200点	—	450点
計	100点	450点	300点	300点	1,150点

イ 後期日程

《機械システム工学科、電気電子工学科、環境・社会基盤工学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
共 通 テ ス ト	100点	500点	300点	300点	1,200点
個別学力検査	—	—	—	—	—
計	100点	500点	300点	300点	1,200点

《生物工学科、医薬品工学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
共 通 テ ス ト	100点	450点	300点	300点	1,150点
個別学力検査	—	—	—	—	—
計	100点	450点	300点	300点	1,150点

④ 旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和7年度入学者選抜（一般選抜）における、旧教育課程を履修した高等学校卒業者等に対する経過措置については、以下のとおりとする。

ア 大学入学共通テストにおける経過措置

教 科	科 目	経過措置
数 学	数学Ⅰ，数学A	旧教育課程により出題される「旧数学Ⅰ・旧数学A」の選択解答を認める。
	数学Ⅱ，数学B，数学C	旧教育課程により出題される「旧数学Ⅱ・旧数学B」の選択解答を認める。

イ 個別学力検査における経過措置

「数学」及び「理科（物理、化学、生物）」の出題において、旧教育課程履修者の不利にならないよう配慮する。

ウ 旧教育課程履修者について

新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月以降に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月以降に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 ＊ 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込み者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は 令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

⑤ 志望学科の選択

- 機械システム工学科及び電気電子工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（機械システム工学科及び電気電子工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。

- ・環境・社会基盤工学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできない。
 - ・生物工学科及び医薬品工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科(生物工学科及び医薬品工学科に限る。)から第2志望学科を選択することができる。
- なお、入学志願票（インターネット出願サイトからダウンロード・印刷）の第2志望欄が空欄の場合は、第2志望が無いものとして取り扱う。

⑥ 合否判定の基準

ア 前期日程

学 科	合 否 判 定 の 基 準
機械システム工学科 電気電子工学科	・大学入学共通テスト及び個別学力検査の点数を合計した総合点による高得点順とする。総合点が同点の場合は、個別学力検査（数学及び理科）の総合計の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。 ・機械システム工学科及び電気電子工学科全体で総合点の高得点順に（総合点が同点の場合は個別学力検査（数学及び理科）の総合計の高い者が上位となり、さらに同点の場合は成績順位を同じとして）順位付けし、順位の高い者から合格学科を決定する。 ・合格学科は第1志望学科を優先して決定される。ただし、各学科の募集人員を踏まえ、第2志望学科に決定されることがある。このとき、第2志望学科を選択していない場合は、不合格になる。
環境・社会基盤工学科	・大学入学共通テスト及び個別学力検査の点数を合計した総合点による高得点順とする。総合点が同点の場合は、個別学力検査（数学及び理科）の総合計の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。
生物工学科 医薬品工学科	・大学入学共通テスト及び個別学力検査の点数を合計した総合点による高得点順とする。総合点が同点の場合は、個別学力検査（数学及び理科）の総合計の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。 ・生物工学科及び医薬品工学科全体で総合点の高得点順に（総合点が同点の場合は個別学力検査（数学及び理科）の総合計の高い者が上位となり、さらに同点の場合は成績順位を同じとして）順位付けし、順位の高い者から合格学科を決定する。 ・合格学科は第1志望学科を優先して決定される。ただし、各学科の募集人員を踏まえ、第2志望学科に決定されることがある。このとき、第2志望学科を選択していない場合は、不合格になる。

イ 後期日程

学 科	合 否 判 定 の 基 準
機械システム工学科 電気電子工学科	・大学入学共通テストの点数を合計した総合点による高得点順とする。総合点が同点の場合は、大学入学共通テストのうち数学及び理科の総合計の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。 ・機械システム工学科及び電気電子工学科全体で総合点の高得点順に（総合点が同点の場合は大学入学共通テストのうち数学及び理科の総合計の高い者が上位となり、さらに同点の場合は成績順位を同じとして）順位付けし、順位の高い者から合格学科を決定する。 ・合格学科は第1志望学科を優先して決定される。ただし、各学科の募集人員を踏まえ、第2志望学科に決定されることがある。このとき、第2志望学科を選択していない場合は、不合格になる。

環境・社会基盤工学科	大学入学共通テストの点数を合計した総合点による高得点順とする。総合点が高得点の場合、大学入学共通テストのうち数学及び理科の総合点の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。
生物工学科 医薬品工学科	- 大学入学共通テストの点数を合計した総合点による高得点順とする。総合点が高得点の場合、大学入学共通テストのうち数学及び理科の総合点の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。 - 生物工学科及び医薬品工学科全体で総合点の高得点順に（総合点が高得点の場合は大学入学共通テストのうち数学及び理科の総合点の高い者が上位となり、さらに同点の場合は成績順位を同じとして）順位付けし、順位の高い者から合格学科を決定する。 - 合格学科は第1志望学科を優先して決定される。ただし、各学科の募集人員を踏まえ、第2志望学科に決定されることがある。このとき、第2志望学科を選択していない場合は、不合格になる。

⑦ 試験会場

前期日程の試験会場は、射水・名古屋・大宮の3か所に開設する。入学志願者はインターネット出願サイトで受験希望試験会場（第1希望が射水会場以外の受験者は第2希望まで）を必ず選択すること。なお、試験会場は先着順で決定するものとし、志願者数によっては、希望した試験会場とならないこともありうる。出願期間終了後にインターネット出願サイトでダウンロード可能となる受験票を印刷し、試験会場欄（本学で指定）を必ず確認すること。

試験会場	所在地	試験会場案内
射水会場	富山県立大学 射水キャンパス	35ページ 「18試験会場案内」 を参照のこと。
名古屋会場	ウイंकあいち (愛知県産業労働センター)	
大宮会場	TKP大宮駅西口 カンファレンスセンター	

(注)

- ・事前に試験会場の下見をする場合、建物内に立ち入らないこと。
- ・名古屋会場に関する質問は、ウイंकあいちでは答えられないので、本学入学試験実施本部まで問い合わせること。
- ・大宮会場に関する質問は、TKP大宮駅西口カンファレンスセンターでは答えられないので、本学入学試験実施本部まで問い合わせること。

⑧ 受験上の注意事項

- ア 受験者は、試験当日、9時30分までに試験会場の試験室へ入り、着席すること。
- イ 各教科の試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認める。ただし、試験時間は延長しない。
- ウ 試験当日は、**大学入学共通テスト受験票、本学受験票、受験上の注意**及び昼食を持参すること。（※本学受験票及び受験上の注意は、インターネット出願サイトからダウンロード・印刷すること。）

試験中は、大学入学共通テスト受験票と本学受験票を必ず机の上に置くこと。大学入学共通テスト受験票は入学手続の際に、また、本学受験票は成績開示の際にも必要があるので紛失しないこと。

ただし、試験当日、大学入学共通テスト受験票、本学受験票を紛失又は忘れた者は、試験開始前に各試験会場の本学入学試験実施本部まで申し出ること。

エ 試験において使用を許可するものは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、シャープペンシルの芯ケース、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）及び本学入学試験実施本部へ申請し許可されたものに限る。なお、携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）等の電子機器類など、その他の携帯品は指定された荷物置場に置くこと。

オ 自動車、バイク等での試験会場への乗り入れを禁止する。

カ 前期日程について個別学力検査を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

キ 不正行為があった場合は、「失格」とする。

***不正行為について**

1. 次のことをすると不正行為となり「失格」となる。

- ① 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の情報を入力・記入（受験票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）すること。
- ② カンニング（カンニングペーパー・教科書・参考書・辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ④ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答を始めてください。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
- ⑦ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。（※事前に本学入学試験実施本部へ申請し許可されたものを除く。）
- ⑨ 「解答をやめて、筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

2. 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。不正行為と認定された場合の取扱いは上記1と同様とする。

- ① 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具、教科書、参考書、辞書等の書籍類を荷物置場に置かず、身に付けていたり手に持っていたりすること。（※事前に本学入学試験実施本部へ申請し許可されたものを除く。）
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

***基本的感染対策として、次の点に留意すること。**

- ① 日頃から、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に十分留意すること。
- ② 試験会場の建物に入る際や試験室の入退室の際は、必ず手指のアルコール消毒を行うこと。
- ③ 試験室内は適宜換気を行うので、体温調節しやすい服装で受験すること。

(2) 情報工学部

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査（前期日程のみ）の結果及び調査書の内容を総合して行う。

① 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

ア 前期日程

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」(注1)	4教科・5科目 (注4)
数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
理科	「物理」「化学」「生物」から1科目(注2)	
外国語	「英語」(注3)	

イ 後期日程

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」(注1)	4教科・5科目 (注4)
数学	「数学Ⅰ，数学A」と「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
理科	「物理」	
外国語	「英語」(注3)	

(注1)「国語」については、「近代以降の文章」のみを合否判定に利用する。なお、100点に換算して利用する。

(注2)「理科」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。

(注3)「英語」については、リーディング及びリスニングの両方を合否判定に利用する。リスニングの受験を免除された者については、リーディングの成績を素点として利用する。
なお、「英語」は、リーディング(100点満点)及びリスニング(100点満点)の合計を素点として利用する。

(注4)指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とする。

② 個別学力検査

ア 試験期日・時間割

試験	期日	時間		
前期日程	令和7年2月25日(火)	9:30～10:00	10:00～12:00	13:30～15:00
		受験上の注意事項説明 (30分)	数学 (120分)	理科 (90分)
後期日程	個別学力検査は、課さない。			

イ 前期日程の実施教科・科目等の内容及び採点・評価の基準(注1)

実施教科等	実施科目等の内容及び採点・評価の基準	時間
数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」の範囲から出題し、高等学校で学ぶ数学に関する知識の習得度や、習得した知識を活用して事象を数学的に考察・表現する能力を点数化して評価する。(注2)	120分
理 科	「物理(物理基礎・物理)」の範囲から出題し、高等学校で学ぶ物理に関する基本的な概念や原理・法則の習得度、論理的な思考力・判断力・表現力を点数化して評価する。	90分

(注1)個別学力検査を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

(注2)「数学A」は「数学と人間の活動」を、「数学B」は「統計的な推測」及び「数学と社会生活」を、「数学C」は「数学的な表現の工夫」を除く。

③ 大学入学共通テストと個別学力検査の配点

ア 前期日程

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
共 通 テ ス ト	100点	200点	100点	250点	650点
個別学力検査	—	250点	200点	—	450点
計	100点	450点	300点	250点	1,100点

イ 後期日程

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
共 通 テ ス ト	100点	500点	300点	300点	1,200点
個別学力検査	—	—	—	—	—
計	100点	500点	300点	300点	1,200点

④ 旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和7年度入学者選抜（一般選抜）における、旧教育課程を履修した高等学校卒業生等に対する経過措置については、以下のとおりとする。

ア 大学入学共通テストにおける経過措置

教 科	科 目	経過措置
数 学	数学Ⅰ，数学A	旧教育課程により出題される「旧数学Ⅰ・旧数学A」の選択解答を認める。
	数学Ⅱ，数学B，数学C	旧教育課程により出題される「旧数学Ⅱ・旧数学B」の選択解答を認める。

イ 個別学力検査における経過措置

「数学」及び「理科（物理、化学、生物）」の出題において、旧教育課程履修者の不利にならないよう配慮する。

ウ 旧教育課程履修者について

新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月以降に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月以降に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 ＊ 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込み者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

⑤ 志望学科の選択

- 情報工学部のいずれかの学科を第1志望学科とする入学志願者は、情報工学部の他の学科（データサイエンス学科、情報システム工学科及び知能ロボット工学科）から第2志望学科を選択することができる。

なお、入学志願票（インターネット出願サイトからダウンロード・印刷）の第2志望

欄が空欄の場合は、第2志望が無いものとして取り扱う。

⑥ 合否判定の基準

ア 前期日程

学 科	合 否 判 定 の 基 準
データサイエンス学科 情報システム工学科 知能ロボット工学科	- 大学入学共通テスト及び個別学力検査の点数を合計した総合点による高得点順とする。総合点が同点の場合は、個別学力検査（数学及び理科）の総合計の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。 - データサイエンス学科、情報システム工学科及び知能ロボット工学科全体で総合点の高得点順に（総合点が同点の場合は個別学力検査（数学及び理科）の総合計の高い者が上位となり、さらに同点の場合は成績順位を同じとして）順位付けし、順位の高い者から合格学科を決定する。 - 合格学科は第1志望学科を優先して決定される。ただし、各学科の募集人員を踏まえ、第2志望学科に決定されることがある。このとき、第2志望学科を選択していない場合は、不合格になる。

イ 後期日程

学 科	合 否 判 定 の 基 準
データサイエンス学科 情報システム工学科 知能ロボット工学科	- 大学入学共通テストの点数を合計した総合点による高得点順とする。総合点が同点の場合は、大学入学共通テストのうち数学及び理科の総合計の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。 - データサイエンス学科、情報システム工学科及び知能ロボット工学科全体で総合点の高得点順に（総合点が同点の場合は大学入学共通テストのうち数学及び理科の総合計の高い者が上位となり、さらに同点の場合は成績順位を同じとして）順位付けし、順位の高い者から合格学科を決定する。 - 合格学科は第1志望学科を優先して決定される。ただし、各学科の募集人員を踏まえ、第2志望学科に決定されることがある。このとき、第2志望学科を選択していない場合は、不合格になる。

⑦ 試験会場

前期日程の試験会場は、射水・名古屋・大宮の3か所に開設する。入学志願者はインターネット出願サイトで受験希望試験会場（第1希望が射水会場以外の受験者は第2希望まで）を必ず選択すること。なお、試験会場は先着順で決定するものとし、志願者数によっては、希望した試験会場とならないこともありうる。出願期間終了後にインターネット出願サイトでダウンロード可能となる受験票を印刷し、試験会場欄（本学で指定）を必ず確認すること。

試 験 会 場	所 在 地	試験会場案内
射水会場	富山県立大学 射水キャンパス	35ページ 「18試験会場案内」 を参照のこと。
名古屋会場	ウインクあいち (愛知県産業労働センター)	
大宮会場	TKP大宮駅西口 カンファレンスセンター	

(注)

- ・事前に試験会場の下見をする場合、建物内に立ち入らないこと。
- ・名古屋会場に関する質問は、ウインクあいちでは答えられないので、本学入学試験実施本部まで問い合わせること。
- ・大宮会場に関する質問は、TKP大宮駅西口カンファレンスセンターでは答えられないので、本学入学試験実施本部まで問い合わせること。

⑧ 受験上の注意事項

- ア 受験者は、試験当日、9時30分までに試験会場の試験室へ入り、着席すること。
- イ 各教科の試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認める。ただし、試験時間は延長しない。
- ウ 試験当日は、**大学入学共通テスト受験票、本学受験票、受験上の注意**及び昼食を持参すること。（※本学受験票及び受験上の注意は、インターネット出願サイトからダウンロード・印刷すること。）
- 試験中は、大学入学共通テスト受験票と本学受験票を必ず机上に置くこと。大学入学共通テスト受験票は入学手続の際に、また、本学受験票は成績開示の際にも必要があるので紛失しないこと。
- ただし、試験当日、大学入学共通テスト受験票、本学受験票を紛失又は忘れた者は、試験開始前に各試験会場の本学入学試験実施本部まで申し出ること。
- エ 試験において使用を許可するものは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、シャープペンシルの芯ケース、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）及び本学入学試験実施本部へ申請し許可されたものに限る。なお、携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）等の電子機器類など、その他の携帯品は指定された荷物置場に置くこと。
- オ 自動車、バイク等での試験会場への乗り入れを禁止する。
- カ 前期日程について個別学力検査を一部でも受けない場合は、「失格」とする。
- キ 不正行為があった場合は、「失格」とする。

***不正行為について**

1. 次のことをすると不正行為となり「失格」となる。

- ① 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の情報を入力・記入（受験票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）すること。
- ② カンニング（カンニングペーパー・教科書・参考書・辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ④ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答を始めてください。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
- ⑦ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。（※事前に本学入学試験実施本部へ申請し許可されたものを除く。）
- ⑨ 「解答をやめて、筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

2. 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。不正行為と認定された場合の取扱いは上記1と同様とする。

- ① 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具、教科書、参考書、辞書等の書籍類を荷物置場に置かず、身に付けていたり手に持っていたりすること。（※事前に本学入学試験実施本部へ申請し許可されたものを除く。）
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

***基本的感染対策として、次の点に留意すること。**

- ① 日頃から、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に十分留意すること。
- ② 試験会場の建物に入る際や試験室の入退室の際は、必ず手指のアルコール消毒を行うこと。
- ③ 試験室内は適宜換気を行うので、体温調節しやすい服装で受験すること。

(3) 看護学部

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査等の結果及び調査書の内容を総合して行う。

① 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

ア 前期日程

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」 (注1)	5教科・5科目 (注6)
地理歴史 公民	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」 「公共、倫理」「公共、政治・経済」から1科目 (注2)	
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅱ、数学B、数学C」 から1科目 (注3)	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 (注4)	
外国語	「英語」 (注5)	

(注1)「国語」については、「近代以降の文章」のみを合否判定に利用する。なお、150点に換算して利用する。

(注2)「地理歴史、公民」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。ただし、「地理総合／歴史総合／公共」は、3つの出題範囲のうち2つを選択解答すること。

(注3)「数学」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。

(注4)「理科」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。ただし、「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、4つの出題範囲のうち2つを選択解答すること。

(注5)「英語」については、リーディング及びリスニングの両方を合否判定に利用する。リスニングの受験を免除された者については、リーディングの成績を素点として利用する。

なお、「英語」は、リーディング(100点満点)及びリスニング(100点満点)の合計を素点として利用する。

(注6)指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とする。

イ 後期日程

前期日程と同じ

② 個別学力検査等

ア 試験期日・時間割

試験	期 日	時 間		
前期日程	令和7年 2月25日(火)	9:30～10:00	10:00～10:50	12:15～
		受験上の注意事項説明 (30分)	小論文 (50分)	個人面接
後期日程	令和7年 3月12日(水)	12:40～13:00	13:00～	
		受験上の注意事項説明 (20分)	個人面接	

イ 実施教科・科目等の内容及び採点・評価の基準

ア 前期日程（注1）

実施教科等	実施科目等の内容及び採点・評価の基準	時 間
小論文	文章や図表を提示し、読解力、論理的思考力、文章表現能力等を点数化して評価する。	50分
面 接	志望理由、志望学科に関連した内容について質問し、コミュニケーション能力や判断力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を点数化して評価する。（注2）	

（注1）個別学力検査等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

（注2）面接は、個人面接とする。

イ 後期日程（注1）

実施教科等	実施科目等の内容及び採点・評価の基準	時 間
面 接	志望理由、志望学科に関連した内容について質問し、コミュニケーション能力や判断力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を点数化して評価する。（注2）	

（注1）個別学力検査等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

（注2）面接は、個人面接とする。

③ 大学入学共通テストと個別学力検査等の配点

ア 前期日程

区 分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	小論文	面 接	計
共 通 テ ス ト	150点	100点	150点	100点	200点	—	—	700点
個別学力検査等	—	—	—	—	—	100点	200点	300点
計	150点	100点	150点	100点	200点	100点	200点	1,000点

（注）面接の配点には出願書類の評価を含む。

イ 後期日程

区 分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	面 接	計
共 通 テ ス ト	150点	100点	150点	100点	200点	—	700点
個別学力検査等	—	—	—	—	—	200点	200点
計	150点	100点	150点	100点	200点	200点	900点

（注）面接の配点には出願書類の評価を含む。

④ 旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和7年度入学者選抜（一般選抜）における、旧教育課程を履修した高等学校卒業者等に対する経過措置については、以下のとおりとする。

ア 大学入学共通テストにおける経過措置

教 科	科 目	経過措置
地理歴史 公 民	「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「地理総合／歴史総合／公共」 「公共、倫理」「公共、政治・経済」	旧教育課程により出題される「旧地理A」 「旧地理B」「旧日本史A」「旧日本史B」 「旧世界史A」「旧世界史B」「旧現代社会」 「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理、旧政治・経済」 の選択解答を認める。
数 学	「数学I」	旧教育課程により出題される「旧数学I」 の選択解答を認める。
	「数学I，数学A」	旧教育課程により出題される「旧数学I・旧数学A」 の選択解答を認める。
	「数学II，数学B，数学C」	旧教育課程により出題される「旧数学II」 「旧数学II・旧数学B」の選択解答を認める。

イ 旧教育課程履修者について

新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月以降に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月以降に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 ＊ 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込み者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

⑤ 合否判定の基準

ア 前期日程

大学入学共通テストと個別学力検査等（小論文及び面接（出願書類の評価を含む。））の点数を合計した総合点の高得点順とする。総合点が同点の場合は、大学入学共通テストの総合点の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、小論文の得点の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。

なお、面接で最低段階の評価を受けた者は、総合点にかかわらず不合格とする。

イ 後期日程

大学入学共通テストと個別学力検査等（面接（出願書類の評価を含む。））の点数を合計した総合点の高得点順とする。総合点が同点の場合は、大学入学共通テストの総合点の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。

なお、面接で最低段階の評価を受けた者は、総合点にかかわらず不合格とする。

⑥ 試験会場

試験会場：富山会場（富山県立大学 富山キャンパス）

所在地：富山県富山市西長江2丁目2番78号

※35ページ「18試験会場案内」を参照のこと。

（注）

- ・前期日程、後期日程ともに富山会場とする。
- ・事前に試験会場の下見をする場合、建物内に立ち入らないこと。

⑦ 受験上の注意事項

ア 前期日程

- （ア）受験者は、試験当日、9時30分までに試験会場の試験室へ入り、着席すること。
- （イ）小論文の試験開始後20分以内の遅刻に限り受験を認める。ただし、試験時間は延長しない。
- （ウ）試験当日は、**大学入学共通テスト受験票、本学受験票、受験上の注意**及び昼食を持参すること。（※本学受験票及び受験上の注意は、インターネット出願サイトからダウンロード・印刷すること。）

試験中は、大学入学共通テスト受験票と本学受験票を必ず机の上に置くこと。大学入学共通テスト受験票は入学手続の際に、また、本学受験票は成績開示の際にも必要であるので紛失しないこと。

ただし、試験当日、大学入学共通テスト受験票、本学受験票を紛失又は忘れた者は、試験開始前に試験会場の本学入学試験実施本部まで申し出ること。

- (エ) 試験において使用を許可するものは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、シャープペンシルの芯ケース、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）及び本学富山キャンパス事務部教務学生課入試・学生募集グループへ申請し許可されたものに限る。なお、携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）等の電子機器類など、その他の携帯品は指定された荷物置場に置くこと。
- (オ) 自動車、バイク等での試験会場への乗り入れを禁止する。
- (カ) 個別学力検査等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。
- (キ) 不正行為があった場合は、「失格」とする。

***不正行為について**

1. 次のことをすると不正行為となり「失格」となる。

- ① 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の情報を入力・記入（受験票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）すること。
- ② カンニング（カンニングペーパー・教科書・参考書・辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ④ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答を始めてください。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
- ⑦ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。（※事前に本学富山キャンパス事務部教務学生課入試・学生募集グループへ申請し許可されたものを除く。）
- ⑨ 「解答をやめて、筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。
- ⑩ 面接が終了していない受験者が、面接が終了した受験者から面接の内容を聞くこと。また、面接が終了した受験者が、面接が終了していない受験者に面接の内容を教えること。（「受験者」とは、令和7年度一般選抜（前期日程）を受験する者をいう。）

2. 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。不正行為と認定された場合の取扱いは上記1と同様とする。

- ① 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具、教科書、参考書、辞書等の書籍類を荷物置場に置かず、身に付けていたり手に持っていたりすること。（※事前に本学富山キャンパス事務部教務学生課入試・学生募集グループへ申請し許可されたものを除く。）
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 面接控室において、携帯電話等、通信機能のある電子機器を使用すること。
- ④ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ⑤ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑦ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

イ 後期日程

- (ア) 受験者は、試験当日、12時40分までに試験会場の面接控室へ入り、着席すること。
12時40分に遅れた場合、原則として、受験を認めない。
- (イ) 試験当日は、**大学入学共通テスト受験票、本学受験票及び受験上の注意**を持参すること。(※本学受験票及び受験上の注意は、インターネット出願サイトからダウンロード・印刷すること。
大学入学共通テスト受験票は入学手続の際に、また、本学受験票は成績開示の際にも必要であるので紛失しないこと。
ただし、試験当日、大学入学共通テスト受験票、本学受験票を紛失又は忘れた者は、試験開始前に試験会場の本学入学試験実施本部まで申し出ること。
- (ウ) 携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）等の電子機器類等は、面接控室に入る前に電源を切ってかばん等に入れ、試験終了まで身につけないこと。
- (エ) 自動車、バイク等での試験会場への乗り入れを禁止する。
- (オ) 個別学力検査等を受けない場合は、「失格」とする。
- (カ) 不正行為があった場合は、「失格」とする。

***不正行為について**

1. 次のことをすると不正行為となり「失格」となる。

- ① 志願票、受験票へ故意に虚偽の情報を入力（受験票に本人以外の写真を使用するなど）すること。
- ② 面接が終了していない受験者が、面接が終了した受験者から面接の内容を聞くこと。また、面接が終了した受験者が、面接が終了していない受験者に面接の内容を教えること。（「受験者」とは、令和7年度一般選抜（後期日程）を受験する者をいう。）

2. 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。不正行為と認定された場合の取扱いは上記1と同様とする。

- ① 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類を身に付けていたり手に持っていたりすること。
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 面接控室において、携帯電話等、通信機能のある電子機器を使用すること。
- ④ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ⑤ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑦ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

***基本的感染対策として、次の点に留意すること。**

- ① 日頃から、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に十分留意すること。
- ② 試験会場の建物に入る際や試験室の入退室の際は、必ず手指のアルコール消毒を行うこと。
- ③ 試験室内は適宜換気を行うので、体温調節しやすい服装で受験すること。

6 出願手続

(1) 出願手続方法

出願はインターネット出願のみとする。

入学志願者は、入試区分（前期日程・後期日程）ごとに、インターネット出願サイトで出願情報の登録及び入学考査料の支払いを行った後、必要な出願書類等を取りまとめて封筒貼付用宛名シートを貼付した市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に入れ、出願期間内に本学に必着となるように「書留速達郵便」で郵送すること。

なお、出願書類等の到着（配達）の有無についての問い合わせには応じない。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により、入学志願者本人が確認すること。

インターネット出願の詳細については、次の「インターネット出願の流れ」をよく読み、手続きを行うこと。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンタなどを用意してください。
必ず富山県立大学のホームページから、出願を希望する入試区分の学生募集要項をダウンロード・印刷するなど、入試内容をよく確認し、必要書類の準備を早めに始めてください。

必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データ、(一般選抜)大学入学共通テスト成績請求票、(学校推薦型選抜)志願理由書、(学校推薦型選抜)推薦書など



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/pu-toyama/>

または、

大学ホームページ

<https://www.pu-toyama.ac.jp>

からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨ 登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。

⑩ 上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願続行に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



① マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



② 入試選択と留意事項の確認



③ 志望学部等の選択



④ 顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤ 個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑥ 出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦ 申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし入学考査料のお支払い画面へ。



⑧ 入学考査料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード



⑨ 出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※入学考査料納入後に出力可能となります。

入学考査料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録情報の修正・変更ができませんので、誤入力のないよう注意してください。ただし、入学考査料支払い前であれば正しい出願情報を再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学考査料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学考査料の支払い

※お支払いには期限がありますのでご注意ください。
お支払い期限は学生募集要項等で必ずご確認ください。

1 クレジットカードでの支払い

出願情報の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願情報の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart



各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから入学考査料を支払ってください。

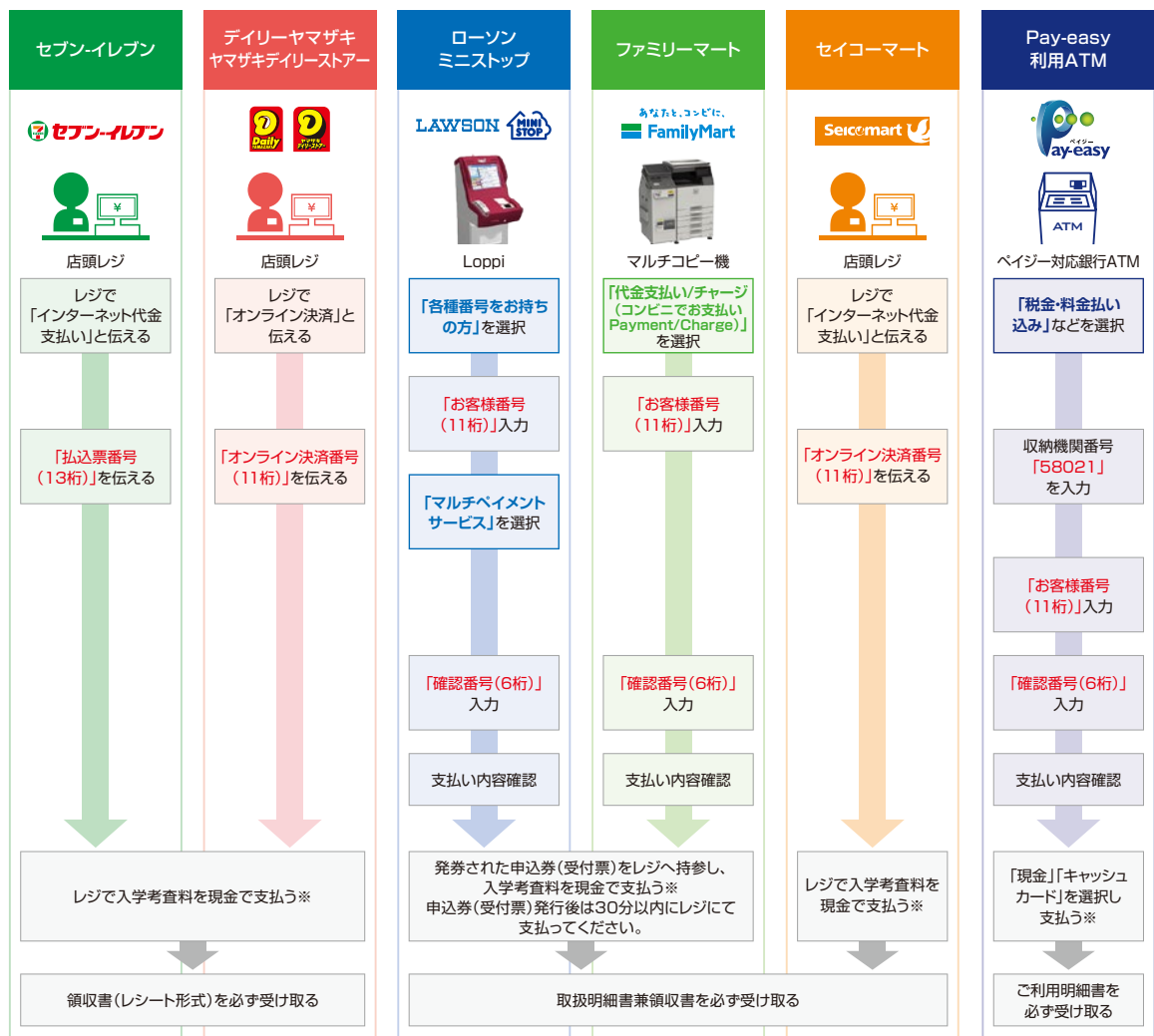
4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6



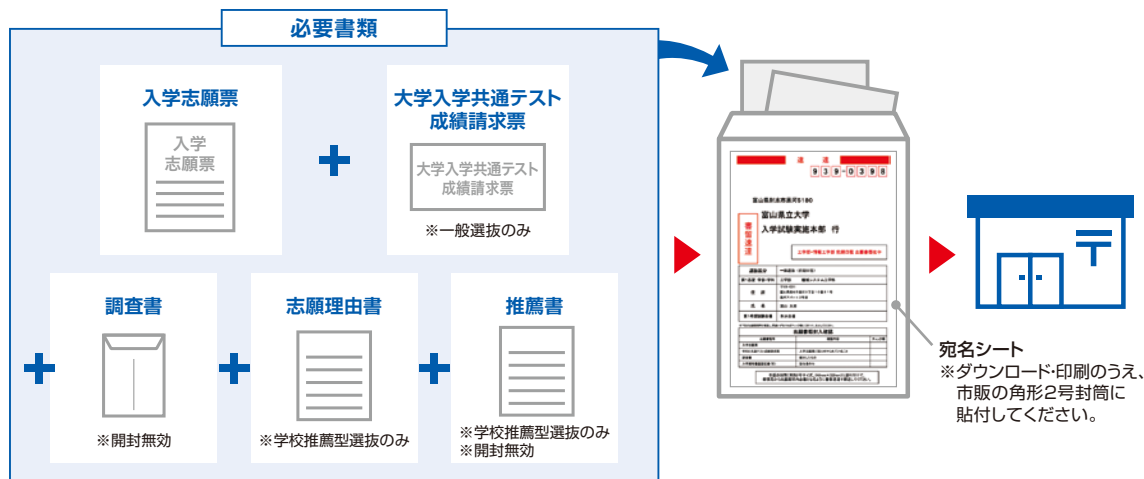
必要書類の印刷・郵送

※登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願情報の登録、入学考査料の支払い後、再びインターネット出願サイトにアクセスし、ダウンロードできるようになった出願に必要な書類を印刷し、その他の必要書類と合わせて出願期間内に必着となるように郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。

※1：出願締切日前日までの消印のある書留速達郵便に限り有効。

※2：学校推薦型選抜の場合は、出身学校長が入学志願者から提出された出願書類等を取りまとめて、出願する学部ごとに郵送してください。



送付先

【工学部・情報工学部・射水キャンパス】
〒939-0398 富山県射水市黒河5180
富山県立大学 入学試験実施本部 行

【看護学部・富山キャンパス】
〒930-0975 富山県富山市西長江2丁目2番78号
富山県立大学 事務部教務学生課入試・学生募集グループ 行

■出願書類

詳細は学生募集要項の「出願書類等」を確認してください。

※出願を一旦受理した入学考査料や必要書類は、
学生募集要項で明記している理由によるものを除き、返還しません。

「入学志願票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「志願票(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「志願票(印刷)」のボタンがクリックできるようになり入学志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録、入学考査料の支払い後、必要書類を郵送して出願完了となります。
提出期限までに必要書類が届けなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願情報の登録・入学考査料の支払いは出願締切日の17時まで可能となっています。必要書類は出願締切日前日までの消印のある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理します。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

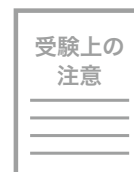


「受験票」・「受験上の注意」等の印刷

出願期間終了後、一斉に「受験票」や「受験上の注意」等を配信します。インターネット出願サイトに再びアクセスし、必ず印刷・確認して、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票等のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】「受験票」は必ずA4用紙に片面・カラー印刷してください。



■インターネット出願サイトの操作方法・入学考査料の支払い方法に関する問い合わせ先

株式会社 キャリタス 「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター

TEL: 0120-202-079 受付時間: 平日10:00~17:00 (土日祝休・年末年始休み)

(2) 事前準備

書 類 等	摘 要
パソコンの 利用環境	インターネット出願には次のWebブラウザを使用すること。 ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 ※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する可能性があるため、複数タブでの同時申込操作は控えること。 スマートフォン、タブレットでのインターネット出願には標準ブラウザを使用すること。 ・iOS 12以降 Safari ・Android 8 以降 Chrome ※各OSの標準ブラウザが推奨環境となる。
PDF表示・印刷 ソフトウェア	入学志願票（PDF）の表示・印刷には、アドビシステムズ社が配布しているAcrobat Readerが必要。
メールアドレス	出願にはメールアドレスが必要。事前にメールアドレスを用意すること。 ※「入学志願票」等をプリントアウトするため、パソコンで使用できるメールアドレスを推奨。 ※ドメイン指定受信を設定している者は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加すること。 @e-apply.jp
本人写真	出願にあたって顔写真データ（ファイル形式（jpeg、jpg、png））を用意すること。 写真の大きさは縦4×横3の比率が望ましい。 写真は本人確認に利用する。 出願受付日前6か月以内に帽子をつけないで上半身正面向きに撮ったもので本人と確認できるカラーの写真データを用意すること。 【使用できない写真の例】 不鮮明（ぼやけている、影がある）、無背景でない（背景に風景が写っている、背景に模様がある）、化粧や前髪が目にかかるなど本人確認が困難、写真に加工を施している、現像された写真を再撮影しているなど。
プリンタ	入学志願票、封筒貼付用宛名シート、受験票及び受験上の注意（PDF）を出力するため、A4普通紙に印刷することができるカラープリンタが必要。 印刷用紙（普通紙・PPC用紙・OA共通用紙・コピー用紙等）とともに用意すること。
角形2号封筒	入学志願票等の出願書類を郵送するため、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を用意し、入学志願票を印刷した際に出力される封筒貼付用宛名シートを貼付して使用すること。

(3) 出願期間

令和7年1月27日(月)から2月5日(水)まで(期間内必着とする。)

インターネット出願サイトでの出願情報の登録及び入学考査料の支払いは、令和7年1月22日(水)午前9時から可能。

郵便事情を考慮して余裕をもって郵送すること。

出願期間後に到着したものは、受理しないので注意すること。

ただし、令和7年2月4日(火)以前の発信局(日本国内)消印のある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(4) 入学考査料

17,000円

入学考査料の支払いは、インターネット出願サイトでの出願情報の登録後、行うことができる。

支払い方法は、21～24ページの「インターネット出願の流れ」を確認すること。

入学考査料の支払い後、(6)出願書類等の「入学志願票」「封筒貼付用宛名シート」のダウンロード・印刷が可能となるので、注意すること。

入学考査料の支払いには、別途手数料がかかる。手数料は、支払人(入学志願者)負担となる。

(5) 出願手続先

① 工学部・情報工学部(射水キャンパス)

〒939-0398 富山県射水市黒河5180

富山県立大学入学試験実施本部

TEL (0766) 56-7500(代)

② 看護学部(富山キャンパス)

〒930-0975 富山県富山市西長江2丁目2番78号

富山県立大学事務部教務学生課入試・学生募集グループ TEL (076) 464-5410(代)

(6) 出願書類等

【Ⅰ インターネット出願サイトからダウンロード・印刷して本学に提出するもの】

出願書類等	摘 要
入学志願票	出願情報の登録及び入学考査料の支払い後、再びインターネット出願サイトにアクセスし、 A4サイズで印刷 して提出すること。 ※提出前に、内容に誤りがないか必ず確認すること。
封筒貼付用宛名シート	出願情報の登録及び入学考査料の支払い後、再びインターネット出願サイトにアクセスし、 A4サイズでカラー印刷 すること。 市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に、剥がれないように確実に貼付すること。 ※提出前に、内容に誤りがないか必ず確認すること。

【Ⅱ 入学志願者が各自で準備して本学に提出するもの】

出願書類等	摘 要
令和7 共通テスト 成績請求票	前期日程に出願する場合は「前」令和7共通テスト成績請求票（国公立前期日程用）」を、後期日程に出願する場合は「後」令和7共通テスト成績請求票（国公立後期日程用）」を、インターネット出願サイトからダウンロード・印刷したそれぞれの入学志願票の所定の欄に貼ること（個別学力検査等の日程と大学入学共通テスト成績請求票の種別が一致していることを確認すること。一致していない場合は、出願書類等は受理しない。）。
調 査 書	出身学校長が文部科学省所定の様式により作成し、厳封したもの（「出欠の記録」欄で長期の欠席があった場合は、必ず備考欄にその診断名等を記入すること。）。ただし、特別の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書や成績通信簿等をもって調査書に代えることができる。 なお、高等専門学校第3学年修了者及び修了見込みの者並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者の調査書については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出すること。 また、外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者、ヨーロッパ・バカロレア資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者並びに高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定合格者を含む。）については、当該試験等の合格成績証明書をもって調査書に代えることができる。 ※本学の前期日程、後期日程の両方に出願する場合は、それぞれ1通ずつ調査書を提出すること。 ※新型コロナウイルス感染症の影響による、大会や資格・検定試験の中止・延期等により、特別活動及び指導上参考となる諸事項の欄の記載が少ないこと等をもって不利に取り扱うことはない。 ※志願者本人に帰責されない身体・健康上の理由*によるやむを得ない欠席日数があることをもって、不利に取り扱うことはない。 *病気・事故等。例えば、新型コロナウイルス感染症のいわゆる罹患後症状と考えられる症状や月経随伴症状等も含む。
入学資格審査 認定書(写)	学校教育法施行規則第150条第7号の規定により本学が行う個別の入学資格審査により認定を受けた者のみ、写しを提出すること。

【Ⅲ 出願書類の受理後、入学志願者がダウンロード・印刷するもの】

出願書類等	摘 要
受 験 票 受験上の注意 等	出願書類が受理された者には、出願期間終了後、一斉に「受験票」及び「受験上の注意」等を配信する。インターネット出願サイトに再びアクセスし、必ずダウンロード・印刷、記載内容を確認して、試験当日持参すること。 ※大学からの郵送は行わない。 ※ダウンロード・印刷が可能となり次第、インターネット出願時に登録したアドレスへメールで通知する。 ※受験票は、必ずA4用紙に片面でカラー印刷すること。

(7) 出願上の注意事項

- ① インターネット出願サイトでの出願情報の登録及び入学考査料の支払いだけでは出願手続は完了しないため、必ず出願に必要な書類を出願期間内に本学に必着となるよう郵送すること。なお、送付先は、志望する学部ごとに異なるため、(5) 出願手続先を参照

すること。

本学の前期日程、後期日程の両方に出願する場合は、それぞれ出願情報の登録及び入学考査料の支払い後、出願に必要な書類を本学に郵送すること。

- ② 国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の出願に際しては、「前期日程」グループで試験を実施する大学・学部から1つ、「公立大学中期日程」グループで試験を実施する大学・学部から1つ、及び「後期日程」グループで試験を実施する大学・学部から1つの、合計3つの大学・学部に出願することができる。ただし、「前期日程」の大学・学部の試験に合格し、入学手続を完了した場合は、「公立大学中期日程」又は「後期日程」の大学・学部に出願又は受験していても「公立大学中期日程」又は「後期日程」の大学・学部への入学の意思がなく、その入学を辞退したものとして取り扱い、それらの大学・学部の合格者とはならない。
- ③ 本学の前期日程に出願する者は他の国公立大学の「前期日程」グループに、また、後期日程に出願する者は他の国公立大学の「後期日程」グループに出願することはできない。
- ④ 国公立大学・学部の学校推薦型選抜合格者は、本学の個別学力検査等を受験することは認められない。たとえ受験しても、受験者として取り扱わない。（推薦入学辞退願を提出することにより入学辞退を許可された場合を除く。）
- ⑤ 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（「5 入学者選抜方法の(1)工学部①（5ページ）、(2)情報工学部①（11ページ）又は(3)看護学部①（15ページ）における大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等」に定める指定教科・科目をいう。）を受験していない場合は、「失格」とするため、指定した教科・科目を受験しているかどうか十分確認したうえ、出願すること。
- ⑥ 大学入学共通テストの受験票及び成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行された受験票及び成績請求票のみが有効。この場合は、再発行された成績請求票により出願しない場合は、「失格」とする。
- ⑦ **本学の前期日程、後期日程ともに、過年度（令和6年度以前）の大学入学共通テストの成績は利用できないので注意すること。**
- ⑧ 本学の前期日程、後期日程の両方に出願することは差し支えない。
なお、後期日程の出願を前期日程の出願と異なる学部・学科にすることも差し支えない。
- ⑨ 工学部・情報工学部の志望学科の選択は、下記を確認のうえ行うこと。

工学部

- 機械システム工学科及び電気電子工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（機械システム工学科及び電気電子工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。
- 環境・社会基盤工学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできない。
- 生物工学科及び医薬品工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（生物工学科及び医薬品工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。

情報工学部

- 情報工学部のいずれかの学科を第1志望学科とする入学志願者は、情報工学部の他の学科（データサイエンス学科、情報システム工学科及び知能ロボット工学科）から第2志望学科を選択することができる。

なお、入学志願票（インターネット出願サイトからダウンロード・印刷）の第2志望欄が空欄の場合は、第2志望が無いものとして取り扱う。

- ⑩ 工学部・情報工学部前期日程の試験会場は、射水・名古屋・大宮の3か所に開設する。入学志願者は、インターネット出願サイトで受験希望試験会場（第1希望が射水会場以外の受験者は第2希望まで）を必ず選択すること。なお、試験会場は先着順で決定する

ものとし、志願者数によっては、希望した試験会場とならないこともありうる。出願期間終了後にインターネット出願サイトでダウンロード可能となる受験票を印刷し、試験会場欄（本学で指定）を必ず確認すること。

看護学部の試験会場（前期日程及び後期日程）は、**富山会場のみとする。**

- ⑪ 出願書類等の受理後は、志望学科など出願事項の変更を認めない。工学部・情報工学部の志望学科の選択には特に注意すること。

ただし、インターネット出願サイトで登録した「入学志願票」の「連絡先」については、出願書類等に関する照会、合格通知、その他緊急の連絡の際に必要なため、変更が生じた場合は、至急、志望する学部ごとに(5)出願手続先に記載する宛先へ届け出ること。

- ⑫ 出願書類等に不備のある場合は、受理しない。

- ⑬ 出願書類は、理由のいかんを問わず返還しない。

また、一旦納付された入学考査料は、次の場合を除き返還しない。

ア 入学考査料を払い込んだが出願しなかった場合（出願が受理されなかった場合を含む。）

イ 入学考査料を二重に払い込んだ場合

ウ 大学入学共通テスト受験科目の不足等により出願無資格者であることが判明した場合（この場合の返還額は13,000円）

＜返還請求方法＞

インターネット出願サイトから「入学志願票」をダウンロード・印刷し、入学考査料の返還請求書とともに本学へ郵送すること。請求書様式は本学ホームページ(<https://www.pu-toyama.ac.jp/>)で確認するか、本学に問い合わせること。

なお、送付先及び問合せ先は、志望する学部ごとに異なるため、(5)出願手続先を参照すること。

（注）アからウまでのいずれの場合においても、入学考査料の支払いの際にかかった手数料は入学志願者の負担とする。

＜返還請求期限＞

出願締切から1か月以内

- ⑭ **受験票及び受験上の注意は、出願書類等を受理した後、令和7年2月10日(月)頃からインターネット出願サイトで一齐に配信する。必ずダウンロード・印刷、記載内容を確認して、試験当日持参すること。令和7年2月14日(金)を過ぎても受験票及び受験上の注意がダウンロード・印刷できないときは、志望する学部ごとに(5)出願手続先に記載する宛先に電話で問い合わせること。**

- ⑮ 入学許可の後においても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがある。

- ⑯ **障害等により受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者は、令和6年12月20日(金)までに、下記事項を記載した書類（様式は任意）及び医師の診断書（写しで可）等を添え、志望する学部ごとに(5)出願手続先に記載する宛先に相談すること。**

※事前相談を行ったことをもって、本学への出願を義務付けるものではない。

- ・ 志望学部・学科
- ・ 障害の種類・程度
- ・ 受験上の配慮を希望する事項
- ・ 修学上の配慮を希望する事項
- ・ その他参考となる事項(大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書の写し、身体障害者手帳の写し等)

上記の結果、必要な場合は、本学において入学志願者又は関係者等との面談を行う。

- ⑰ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合否及び入学手続等に

関する個人情報が、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。

7 合格発表

(1) 発表方法

合格者の受験番号を本学のホームページに掲載するとともに、合格者本人宛に郵便で通知する。本学のホームページのアドレスは<https://www.pu-toyama.ac.jp/>（携帯サイト<https://daigakujc.jp/pu-toyama/>）。

なお、合否についての問い合わせには一切応じない。

(2) 発表期日

試 験	発 表 期 日
前 期 日 程	令和7年3月8日(土) 10時(予定)
後 期 日 程	令和7年3月22日(土) 10時(予定)

8 入学手続

(1) 入学手続方法

入学手続書類等を取りまとめて、入学手続期間内に持参するか、「書留速達郵便」で郵送すること。

なお、郵送の場合、封筒に、工学部合格者は「**工学部一般選抜入学手続書類在中**」と、情報工学部合格者は「**情報工学部一般選抜入学手続書類在中**」と、看護学部合格者は「**看護学部一般選抜入学手続書類在中**」と朱書きすること。

(2) 入学手続期間

試 験	入 学 手 続 期 間
前 期 日 程	令和7年3月13日(木)から3月15日(土)まで (期間内必着とする) 。
後 期 日 程	令和7年3月25日(火)から3月27日(木)まで (期間内必着とする) 。

持参された入学手続書類等の受付時間は、9時から12時まで及び13時から17時までとする。

郵送の場合も、上記の手続最終日まで必着のこと。

(3) 入学手続先

① 工学部・情報工学部（射水キャンパス）

〒939-0398 富山県射水市黒河5180

富山県立大学入学試験実施本部

TEL (0766) 56-7500(代)

② 看護学部（富山キャンパス）

〒930-0975 富山県富山市西長江2丁目2番78号

富山県立大学事務部教務学生課入試・学生募集グループ TEL (076) 464-5410(代)

(4) 入学手続に要する書類等

① 誓約書等

本学が交付する用紙に記入すること。

② 入学料

ア 富山県の住民 188,000円

その他の者 282,000円

イ 本学指定の「入学金振込依頼書」を使用し、**金融機関（ゆうちょ銀行、郵便局を除く。）の窓口**で納付すること（ATM（現金自動預払機）は利用しないこと。）。

納付後、金融機関が発行した「振込受付証明書」に振込受付印が押印されていることを確認の上、入学手続書類に同封すること。

③ 大学入学共通テスト受験票

受験の際、使用したもの。

「入学手続完了済」の押印後、返却する。

- ④ 写真（１枚）
正面上半身無帽、背景なし、縦４ｃｍ×横３ｃｍ、入学手続前６か月以内に単身で撮影したもの。裏面に学部、学科、氏名を記入すること。
- ⑤ 入学許可書等送付用切手
620円切手を同封すること。（切手の金額は今後変更する場合がある。）
- ⑥ 卒業証明書又は修了証明書
期限までに提出できない場合は、合格した学部ごとに(3)入学手続先に記載する宛先に申し出ること。
（出願時に高等学校卒業程度認定試験等の合格成績証明書を提出した者は、提出する必要はない。）
- (5) 入学手続上の注意事項
- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱う。
- ② １つの国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）に入学手続をした者は、それ以後、これを取り消して他の国公立大学・学部に入入学手続をすることはできない。
- ③ 「前期日程」グループで試験を実施する大学・学部の試験に合格し、入学手続を完了した者は、「公立大学中期日程」又は「後期日程」グループで試験を実施する大学・学部の試験を受験してもその合格者とはならない。
- ④ 「富山県の住民」とは、本人又はその者の配偶者若しくは１親等の親族が令和６年４月１日から引き続き富山県内に住所を有する者及びこれに準ずると認められる者をいう。
「富山県の住民」の認定は、住民票等によって行う。
- ⑤ 入学手続が全て終了した者には入学許可書を交付する。
- ⑥ 一旦納付された入学料は、次の場合を除き返還しない。
- ア 入学料を過払いした場合
- イ 入学料を二重に払い込んだ場合
- なお、この場合においても、入学料を振り込んだ際にかかった振込手数料は入学手続者の負担とする。
- 返還請求方法については合格した学部ごとに(3)入学手続先に記載する宛先に問い合わせること。
- 返還請求期限は令和７年４月10日(木)までとする。

9 授業料等

（令和６年４月現在）

区 分	工学部・ 情報工学部	看護学部	納入時期	摘 要
授 業 料	年額 535,800 円		5月、11月	初年度の前期分は銀行振込、初年度の後期分以降については、半期ごとの口座振替となる。
学 生 教 育 研 究 災 害 傷 害 保 険 料	4,660 円	5,370 円	入学時	4 か年分
後 援 会 費	50,000 円		入学時	4 か年分
学 生 会 費	20,000 円		入学時	4 か年分
同 窓 会 費	20,000 円	10,000 円	入学時	入会金

（注１）授業料等は年度によって変わることがある。

在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用される。

（注２）入学者は、一定の基準にあったノート型パソコンが必要となる。

一定の仕様・性能を備えているものであれば、必ずしも新規購入する必要はない。

（注３）別途、教科書や実習等の経費が必要となる。

10 追加合格

入学手続締切日〔令和7年3月27日(木)〕において、入学手続完了者数が入学定員に満たない場合は、令和7年3月28日(金)から、本学を受験した者のうち他の国公立大学に入学手続していない者を対象として、追加合格による欠員補充を行うことがある。

追加合格者にはインターネット出願サイトで登録した「入学志願票」の「連絡先」へ電話等により連絡を行うので、所在を明らかにし、連絡をとれるようにしておくこと。その際には、資格及び入学意思を確認のうえ、文書による通知を行う。

なお、追加合格者の入学手続は、合格通知の際に通知する。

11 奨学金制度

(1) 日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構が実施する奨学金には給付型と貸与型の二種類がある。

① 給付型奨学金（高等教育の修学支援制度）

支給期間終了後に返還の必要がない奨学金で、採用方法は予約採用と在学採用がある。

予約採用の場合、希望者は在学する高等学校等（卒業後（高等専門学校第3学年を修了後）2年以内の者は卒業（修了）した学校、高等学校卒業程度認定試験合格者は日本学生支援機構）の奨学金窓口に応じ、申し出る必要がある。予約採用の場合、採用決定は4～6月頃になる予定。

在学採用の場合、希望者は大学入学後、各年度の申請期間内に申請をする必要がある。申請のあった学生を大学が選考のうえ推薦し、最終的に日本学生支援機構が採用者を決定する。在学採用の場合、採用決定は7月頃になる予定。

給付奨学金の採用者は、採用区分に応じて授業料及び入学料の全部または一部が免除される。（授業料等の減免については「12 授業料等の減免制度」参照）

（令和6年4月現在）

区 分		支 給 月 額			
		第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	第Ⅳ区分
給 付 型	自 宅 通 学 者	29,200円 (33,300円)	19,500円 (22,200円)	9,800円 (11,100円)	7,300円 (8,400円)
	自 宅 外 通 学 者	66,700円	44,500円	22,300円	16,700円

（ ）内は、生活保護世帯及び児童養護施設等から通学する学生の場合

② 貸与型奨学金

貸与期間終了後に返還の必要がある奨学金で、無利子の第一種奨学金と有利子の第二種奨学金があり、採用方法は予約採用と在学採用がある。

予約採用の場合、希望者は在学する高等学校等の奨学金窓口に応じ、申し出る必要がある（給付型奨学金と同様）。予約採用の場合、採用決定は4～6月頃になる予定。

在学採用の場合、希望者は大学入学後、各年度の申請期間内に申請をする必要がある。申請のあった学生を大学が選考のうえ推薦し、最終的に日本学生支援機構が採用者を決定する。在学採用の場合、採用決定は7月頃になる予定。

（令和6年4月現在）

区 分	貸 与 月 額	
第一種奨学金 (無利子)	自 宅 通 学 者	2万円、3万円又は4万5千円
	自 宅 外 通 学 者	2万円、3万円、4万円又は5万1千円
第二種奨学金 (有利子)	2万円～12万円（1万円単位）からの選択制	

※第一種奨学金（無利子）を給付奨学金と併用する場合は、貸与月額が上記の額から調整される。

(2) その他

地方公共団体や公益財団法人、民間企業、公的病院などが実施する奨学金については、学内の学生掲示板において情報を掲示している。

例) 富山県が貸与する奨学金制度「富山県奨学資金」、「富山県看護学生修学資金」等

12 授業料等の減免制度

(1) 特別免除（富山県出身入学者特待生制度）

次の基準に該当する者について、1年間の授業料及び入学科を免除する制度がある。

① 1年次生

富山県内高等学校出身者のうち、大学入学共通テストの得点率が60%を超えており、本学入試における総合評価が高い者（全額免除）

ア 工学部・情報工学部…2学部合計15名以内

（前期日程合格者：概ね11名、後期日程合格者：概ね2名、
学校推薦型選抜合格者：概ね2名）

○制度の選考にかかる大学入学共通テストの教科・科目及び配点（工学部・情報工学部）

教科	国語	数学	理科	外国語 (英語)	計
科目	前期日程合格者 ……前期日程試験で受験を要する科目 後期日程合格者 ……後期日程試験で受験を要する科目 学校推薦型選抜合格者 …前期日程試験で受験を要する科目				
配点	100点	200点	100点	200点	600点

イ 看護学部…8名程度（前期日程合格者：概ね6名、後期日程合格者：0～1名、
学校推薦型選抜合格者：1～2名）

○制度の選考にかかる大学入学共通テストの教科・科目及び配点（看護学部）

教科	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語 (英語)	計
科目	前期日程合格者 ……前期日程試験で受験を要する科目 後期日程合格者 ……後期日程試験で受験を要する科目 学校推薦型選抜合格者 …前期日程試験で受験を要する科目					
配点	150点	100点	150点	100点	200点	700点

② 2年次生以上

1年次において特別免除に該当し、前年次の成績が学科内で原則上位10%以内の者（収入基準により全額又は半額免除）

(2) 高等教育の修学支援制度による授業料等免除

国の高等教育の修学支援制度の対象となった者※に対し、採用区分に基づき、授業料及び入学科の全部または一部を免除する。

※日本学生支援機構の給付奨学生に採用（予約採用または在学採用の制度あり）された者（給付奨学金については「11奨学金制度」参照）

給付奨学金の採用区分	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	第Ⅳ区分
免除の割合	全額免除	2／3免除	1／3免除	1／4免除

13 福利厚生等

(1) 富山県立大学生生活協同組合

生協は、学生及び教職員の生活の安定と向上を目的とし、組合員から出資された出資金を基に幅広く事業を行っており、「食堂」、「生協購売部(食品、SHOP)」の営業を行っている。

(2) アパート・下宿

本学には、学生寮はないが、生協において大学周辺のアパート・下宿の空室情報等を提供している。

なお、希望する者は、富山県立大学生生活協同組合(TEL(0766)56-8824)にその旨を連絡すること。

14 サークル活動

本学には体育系・文化系など多数のサークルがある。これらのサークルには学生の誰もが加入でき、顧問教員の指導・助言のもとに活発な活動を行っている。

15 令和7年度入学試験結果の開示について

受験者本人のみ自己の令和7年度入学試験結果を開示請求することができる。開示は閲覧による。

(1) 開示内容

受験者本人の総合順位及び大学入学共通テスト、個別学力検査等の科目別得点

(2) 開示期間

令和7年4月7日(月)から5月7日(水)まで

請求時間は、9時から12時まで及び13時から17時までとし、土曜日、日曜日、休日は請求できない。

(3) 開示場所

① 工学部・情報工学部(射水キャンパス)

事務局教務課学生募集係 富山県射水市黒河5180

② 看護学部(富山キャンパス)

事務部教務学生課入試・学生募集グループ 富山県富山市西長江2丁目2番78号

(4) 開示方法

受験者本人が本学の受験票を持参のうえ手続を行う。

16 令和7年度入学試験における合格者の平均点、最低点、最高点等の公表について

本学合格者の大学入学共通テスト、個別学力検査等の合計点による平均点、最低点、最高点について、令和7年4月7日(月)以降、本学のホームページに掲載する予定。

17 個人情報の取扱い

入学志願者から提出された出願書類に記載されている氏名、性別、生年月日、住所等の個人情報については、本学の入学者選抜の目的以外で利用することや、第三者に提供することはない。

18 試験会場案内

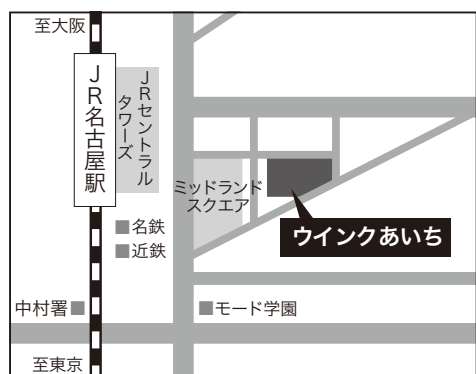
- ※工学部受験者は9ページ5(1)⑦試験会場を必ず確認すること。
 ※情報工学部受験者は13ページ5(2)⑦試験会場を必ず確認すること。

(1) 射水会場（工学部・情報工学部のみ） 富山県射水市黒河5180

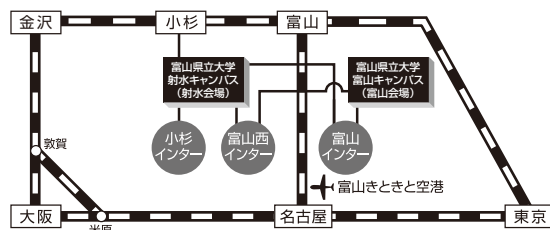


(あいの風とやま鉄道)小杉駅下車
 ・徒歩……小杉駅南口から約25分(約2km)
 ・試験当日は小杉駅・大学間に送迎バスを運行します。
 ・射水市コミュニティバスのご利用については、射水市のホームページをご確認ください。

(2) 名古屋会場（工学部・情報工学部のみ） ウインクあいち（愛知県産業労働センター） 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38



(JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より徒歩約2分



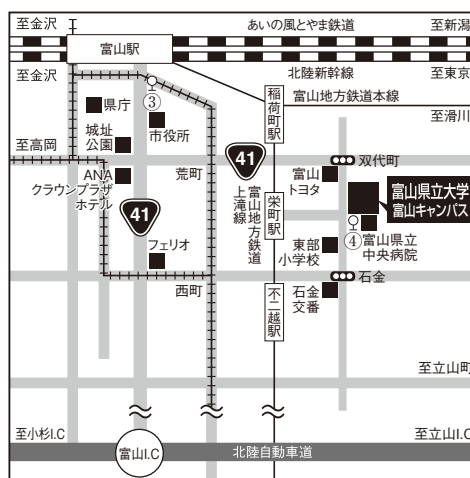
	飛行機	鉄道	高速道路
東京～富山	1時間	2時間10分	4時間40分
大阪～富山	—	2時間35分	4時間15分
名古屋～富山	—	2時間35分	3時間

(3) 大宮会場（工学部・情報工学部のみ） TKP大宮駅西口カンファレンスセンター 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-8-1 ベルヴェオオフィス大宮5F・6F



(JR・東武野田線・埼玉新都市交通)大宮駅より徒歩2分

(4) 富山会場（看護学部のみ） 富山県富山市西長江2丁目2番78号 ※看護学部受験者は17ページ5(3)⑥試験会場を必ず確認すること。



(JR・あいの風とやま鉄道)富山駅下車

- ・タクシー……約10分
- ・電車と徒歩…富山駅—(徒歩約2分)—電鉄富山駅—(電車4分)—栄町駅—(徒歩約7分)
- ・富山地方鉄道バス利用…③から「⑧中央病院行き」に乗車—④で下車(乗車時間約20分)
- (③バス停は「富山駅前(南口)8番乗り場」④バス停は「中央病院」)

出 願 書 類 等

見 本

※必ずインターネット出願サイトからダウンロード・印刷した書類で出願してください。

全学部共通 見本

※様式は変更する場合があります。

令和7年度 富山県立大学 入学志願票 一般選抜 前期日程

※受験番号

※受験番号の欄は記入しないでください。

238927997642

令和7共通テスト成績請求票
(※ 以下の枠にのり付けしてください。)

前

令和7共通テスト成績請求票
国公立前期日程用
貼付欄

志望学部	工学部			
志望学科	第1志望		第2志望 ※工学部・情報工学部のみ	
	機械システム工学科		電気電子工学科	
受験希望 試験会場	第1希望		第2希望 ※工学部・情報工学部のみ	
	射水会場			
フリガナ	トミヤマ タロウ		生年月日	平成18年7月6日 生
氏 名	富山 太郎		性別	男性
現住所 ※確実に連絡が 取れるところ	富山県射水市黒河3丁目10番21号 黒河アパート2号室			
	郵便番号	939-0311	メールアドレス	sample@pu-toyama.ac.jp
	電話番号	0766-57-0000	携帯電話	
その他 連絡先	現住所と同じ			
	郵便番号		電話番号	090-0000-0000
	保護者等氏名	富山 一		
出身学校	所在地	学校名等		
	富山県	〇〇		
	学科	課程	出願資格	
	普通科	全日制	令和7年3月	卒業（修了）見込み

入学考査料支払い有り



238927997642

見本

※様式は変更する場合があります。

速 達

9

3

9

－

0

3

9

8

富山県射水市黒河5180

富山県立大学

入学試験実施本部 行

書留速達

工学部・情報工学部 前期日程 出願書類在中

選抜区分	一般選抜（前期日程）
第1志望 学部・学科	工学部 機械システム工学科
住 所	〒939-0311 富山県射水市黒河3丁目10番21号 黒河アパート2号室
氏 名	富山 太郎
第1希望試験会場	射水会場

※下記の出願書類等を確認し、間違いがなければチェック欄に○をつけ、封入してください。

出願書類封入確認		
出願書類等	確認内容	チェック欄
入学志願票		
令和7共通テスト成績請求票	入学志願票に貼り付けられていること	
調査書	厳封したもの	
入学資格審査認定書(写)	該当者のみ	

市販の封筒(角形2号サイズ、240mm×332mm)に貼り付けて、郵便局から出願期間内必着となるように書留速達で郵送してください。

見本

※様式は変更する場合があります。

速

達

9

3

0

-

0

9

7

5

富山県富山市西長江2丁目2番78号

富山県立大学 富山キャンパス事務部

教務学生課入試・学生募集グループ 行

書留速達

看護学部 前期日程 出願書類在中

選抜区分	一般選抜（前期日程）
学部・学科	看護学部 看護学科
住 所	〒939-0311 富山県射水市黒河3丁目10番21号 黒河アパート2号室
氏 名	富山 花子

※下記の出願書類等を確認し、間違いがなければチェック欄に○をつけ、封入してください。

出願書類封入確認		
出願書類等	確認内容	チェック欄
入学志願票		
令和7共通テスト成績請求票	入学志願票に貼り付けられていること	
調査書	厳封したもの	
入学資格審査認定書(写)	該当者のみ	

市販の封筒(角形2号サイズ、240mm×332mm)に貼り付けて、
郵便局から出願期間内必着となるように書留速達で郵送してください。

全学部共通

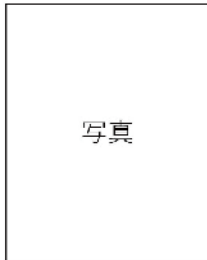
見本

令和7年度 富山県立大学

受験票

選抜区分	一般選抜（前期日程）
志望学部	工学部
第1志望学科	機械システム工学科
受験番号	999999
試験会場	射水会場
フリガナ	トミヤマ タロウ
氏名	富山 太郎

（注）大学入学共通テストの受験票も忘れずに持参すること。



試験当日は切り離して受験票のみ机の上に置くこと。

※様式は変更する場合があります。

※試験当日は切り離して受験票のみ机の上に置くこと。

※カラー印刷すること。

（きりとり）

入試日程

- 試験期日 令和7年2月25日（火）
- 試験会場
（1）工学部・情報工学部 射水会場、名古屋会場、大宮会場（受験票の試験会場欄を必ず確認すること）
（2）看護学部 富山会場（富山県富山市西長江2丁目2番78号）
- 時間表

（1）工学部・情報工学部

教科等	時間
受験上の注意事項説明	9:30 ～ 10:00
数学	10:00 ～ 12:00
理科	13:30 ～ 15:00

（2）看護学部

学力検査等	時間
受験上の注意事項説明	9:30 ～ 10:00
小論文	10:00 ～ 10:50
個人面接	12:15 ～

受験心得

- 受験者は試験当日、9時30分までに試験会場の試験室に入り、着席すること。
- 工学部・情報工学部は各教科の試験開始後30分以内、看護学部は小論文の試験開始後20分以内の遅刻に限り受験を認める。ただし、試験時間は延長しない。
- 試験中は、「大学入学共通テスト受験票」と、この「受験票」を必ず机の上に置くこと。
- 試験において使用を許可するものは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、シャープペンシルの芯ケース、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）及び本学入学試験実施本部（工学部・情報工学部）又は本学富山キャンパス事務部教務学生課入試・学生募集グループ（看護学部）へ申請し許可されたものに限る。
なお、携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末等（スマートウォッチやスマートグラス等）の電子機器類など、その他の携帯品は指定された荷物置場に置くこと。
- 自動車、バイク等での試験会場への乗り入れを禁止する。

全学部共通 見本

※様式は変更する場合があります。

令和7年度 富山県立大学 入学志願票 一般選抜 後期日程

※受験番号

※受験番号の欄は記入しないでください。

令和7共通テスト成績請求票
(※ 以下の枠にのり付けしてください。)

後

令和7共通テスト成績請求票
国公立後期日程用
貼付欄

志望学部	看護学部			
志望学科	第1志望		第2志望 ※工学部・情報工学部のみ	
	看護学科			
フリガナ	トミヤマ ハナコ		生年月日	平成19年1月1日 生
氏 名	富山 花子		性別	女性
現住所 ※確実に連絡が 取れるところ	富山県射水市黒河3丁目10番21号			
	黒河アパート2号室			
	郵便番号	939-0311	メールアドレス	sample@pu-toyama.ac.jp
	電話番号	0766-57-0000	携帯電話	
その他 連絡先				
	郵便番号		電話番号	
	保護者等氏名			
出身学校	所在地	学校名等		
	富山県	〇〇		
	学科	課程	出願資格	
	普通科	全日制	令和7年3月	卒業（修了）見込み

入学考査料支払い有り



230348862832

見本

※様式は変更する場合があります。

速 達

9 3 9 - 0 3 9 8

富山県射水市黒河5180

富山県立大学

入学試験実施本部 行

書留速達

工学部・情報工学部 後期日程 出願書類在中

選抜区分	一般選抜（後期日程）
第1志望 学部・学科	工学部 機械システム工学科
住 所	〒939-0311 富山県射水市黒河3丁目10番21号 黒河アパート2号室
氏 名	富山 太郎

※下記の出願書類等を確認し、間違いがなければチェック欄に○をつけ、封入してください。

出願書類封入確認		
出願書類等	確認内容	チェック欄
入学志願票		
令和7共通テスト成績請求票	入学志願票に貼り付けられていること	
調査書	厳封したもの	
入学資格審査認定書(写)	該当者のみ	

市販の封筒(角形2号サイズ、240mm×332mm)に貼り付けて、郵便局から出願期間内必着となるように書留速達で郵送してください。

見本

※様式は変更する場合があります。

速

達

9

3

0

-

0

9

7

5

富山県富山市西長江2丁目2番78号

富山県立大学 富山キャンパス事務部

教務学生課入試・学生募集グループ 行

書留速達

看護学部 後期日程 出願書類在中

選抜区分	一般選抜（後期日程）
学部・学科	看護学部 看護学科
住 所	〒939-0311 富山県射水市黒河3丁目10番21号 黒河アパート2号室
氏 名	富山 花子

※下記の出願書類等を確認し、間違いがなければチェック欄に○をつけ、封入してください。

出願書類封入確認		
出願書類等	確認内容	チェック欄
入学志願票		
令和7共通テスト成績請求票	入学志願票に貼り付けられていること	
調査書	厳封したもの	
入学資格審査認定書(写)	該当者のみ	

市販の封筒(角形2号サイズ、240mm×332mm)に貼り付けて、
郵便局から出願期間内必着となるように書留速達で郵送してください。

全学部共通

見本

令和7年度 富山県立大学

受験票

選抜区分	一般選抜（後期日程）
志望学部	看護学部
第1志望学科	看護学科
受験番号	999999
フリガナ	トミヤマ ハナコ
氏名	富山 花子

（注）看護学部志願者は、大学入学共通テストの受験票も忘れずに持参すること。



試験当日は切り離して受験票のみ机の上に置くこと。

※様式は変更する場合があります。

※試験当日は切り離して受験票のみ机の上に置くこと。

※カラー印刷すること。

（きりとり）

入試日程

- 工学部・情報工学部 個別学力検査は課さない。
- 看護学部
 - 試験期日 令和7年3月12日（水）
 - 試験会場 富山会場（富山県富山市西長江2丁目2番78号）
 - 時間表

学力検査等	時 間
受験上の注意事項説明	12:40 ～ 13:00
個人面接	13:00 ～

受験心得

- 受験者は試験当日、12時40分までに試験会場の面接控室に入り、着席すること。
12時40分に遅れた場合、原則として、受験を認めない。
- 携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末等（スマートウォッチやスマートグラス等）の電子機器類等は、面接控室に入る前に電源を切ってかばん等に入れ、試験終了まで身につけないこと。
- 自動車、バイク等での試験会場への乗り入れを禁止する。

入試に関するホームページ

本学では、令和7年度入学試験についての情報を次のとおりインターネットで提供しますので、ご利用ください。

URL <https://www.pu-toyama.ac.jp/> 【携帯サイト】<https://daigakuic.jp/pu-toyama/>

提 供 期 間	提 供 内 容
令和6年7月下旬～	入学者選抜要項の公表
9月中旬～	学生募集要項の公表
令和7年1月下旬～	出願状況の公表
4月中旬～	令和7年度入学試験結果の公表
常 時	入学者受入方針〔アドミッション・ポリシー〕

◇不測の事態等が発生した場合の諸連絡

不測の事態等の発生により、本募集要項の内容を変更する場合は、本学ホームページ等により周知しますので、出願前や受験前には特に注意願います。

本学ホームページ URL <https://www.pu-toyama.ac.jp/>



富山県立大学入学試験実施本部

出願・受験・その他に関するお問い合わせ先

学 部	担 当	住 所
工 学 部・ 情報工学部 (射水キャンパス)	富山県立大学入学試験実施本部 (事務局教務課学生募集係)	〒939-0398 富山県射水市黒河5180 TEL (0766) 56-7500 (代)
看護学部 (富山キャンパス)	富山県立大学事務部教務学生課 入試・学生募集グループ	〒930-0975 富山県富山市西長江2丁目2番78号 TEL (076) 464-5410 (代)

URL <https://www.pu-toyama.ac.jp/> E-mail admission@pu-toyama.ac.jp